

クリスマス会の開催

12月18日(金)午後、医療センター 2Fラウンジを会場に、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。このクリスマス会は入院している患者さんにもクリスマスの雰囲気を感じてもらおうと開催しています。

会場の様子は病室内のテレビでも放送され、病棟では看護学生から入院患者さん1人1人にクリスマスカードが手渡されました。



ラウンジには各階から多くの入院患者さんや外来患者さんに集まって頂きました。会の中では看護学生による歌、手話、ハンドベル、おおぞら保育園の園児による歌、ダンスが出し物として披露され、披露後は会場から盛大な拍手が送られました。

看護学生や園児の元気あふれる出し物やクリスマスカードは、患者さんにとって一足早いクリスマスプレゼントになったことと思います。



夜を彩るイルミネーション

12月9日(水)に病院玄関で恒例のイルミネーション点灯式を開催しました。このイルミネーションは、病院は入院患者さんにとって療養するための場だけでなく生活の場でもあり、気持ちよく過ごしてもらいたいという思いから始まりました。平成20年から始まり今年で8回目となります。



点灯式では主催者の石黒院長の挨拶に続き、来賓の近重浜田副市長よりお言葉を頂きました。司会者のカウントダウンに合わせて、石黒院長と近重副市長が点灯スイッチを押され、ケヤキの木に飾られたLEDライトやその周りの電飾が一斉に輝き、大きな歓声があがりました。イルミネーション点灯後は、看護学生によるハンドベルや手話を使った出し物が行われました。

来院された皆さんや職員が記念撮影をしたり、病棟からも多くの方が眺めたりするなど、クリスマスに向けて気持ちがわくわくと高まったことと思います。

